

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
15122	美学	2単位 前期	1~2	講義	喜屋武 盛也

■テーマ 美学の歴史と諸問題

■授業の概要

美学は18世紀に成立した学問であるが、美についての議論、および今日の〈芸術〉に相当する領域についての議論は古代から存在しており、かかる議論の蓄積をもとに美学という学問が成立したと言える。本講義では、そうした西洋美学の歴史的構造を軸に据えて、様々なテキストを紹介する。

■到達目標

- ・西洋美学の主要概念や歴史の大枠を把握し、それを踏まえた思考と記述ができるようになる。

■授業計画・方法

1. ガイダンス／イントロダクション
2. プラトン（「ヒippias（大）」）
3. プラトン（「パイドロス」）
4. アリストテレス（「詩学」）
5. プロティノス／ルネサンスの理論家たち
6. ヴィンケルマン／バウムガルテン
7. デイドロ／ルソー
8. カント（「判断力批判」）
9. ゲーテ（「ドイツの建築」、「色彩論」）／シラー（「カリアス書簡」）
10. ヘーゲル（「美学講義」）
11. ニーチェ（「悲劇の誕生」）
12. ハンスリック（「音楽美論」）／フィードラー（芸術活動の起源）
13. クローチェ（「美学」）／ハイデッガー（「芸術作品の根源」）
14. ベンヤミン（「複製技術時代の芸術作品」）
15. 回顧と展望／定期試験

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

・入門的な講義ではあるが、十全に理解するためには理論的な関心に基づく読書が必要である。紹介したテキスト、あるいは関連があると思われるテキストを自ら進んで紐解くこと。

■成績評価の方法・基準

□方法 学期末の試験（100%）

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

□教科書 なし

□テキスト なし（資料を配布する）

□参考文献 はじめに手に取る一冊としては、佐々木健一『美学への招待』（中公新書、701.1/Sa75）を推薦する。美学および美学史の諸相については、佐々木健一『美学辞典』（東京大学出版会、701.1/Sa75）、小田部胤久『西洋美学史』（東京大学出版会、701.1/081）、今道友信（編）『西洋美学のエッセンス』（ペリかん社、701.1/Se19）を、基本文献を紹介したものとしては、『芸術理論古典文献アンソロジー 西洋篇』（幻冬舎、701/G32）を挙げる。現代英米美学の把握には、R・ステッカー『分析美学入門』（勁草書房）が有益。